



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

●本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

■取付け上のお願い

- 丁番3枚吊り、4枚吊りの本体は、最初に中間の丁番を取付け、次に端部の丁番を取付けてください。又、本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤（現場手配）を併用してください。
- かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤（現場手配）を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- かい木には、合板などの乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- つば材はハンマーなどで強くたたき込まないようにしてください。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。（本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。）
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率20%以下）を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠の組立て後、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 運搬・加工の際は、キズ付けないように取扱ってください。又、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買求め店までご連絡ください。（施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。）

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、施工完了後に吊込むことをおすすめします。

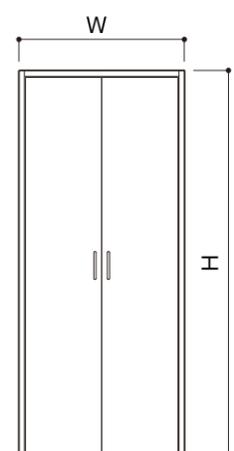
■部品・部材の明細

※枠はノックダウン、本体は完成品

本 体	三方枠	四方枠	つば付き薄下枠
	<ul style="list-style-type: none"> ●上枠 ●縦枠(2本) 	<ul style="list-style-type: none"> ●上枠 ●縦枠(2本) 	<ul style="list-style-type: none"> ●つば付き薄下枠 ●つば材
	ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)		埋込下枠
		つばなし薄下枠	<ul style="list-style-type: none"> ●溝プタ ●埋込下枠

■開口部の作成

- 開口部を作成します。
- ※開口部寸法は下記寸法で作成願います。
開口H方向：製品寸法H+床厚+5mm
開口W方向：製品寸法W+5mm



■部品セット

〔本体用〕

部品名称	把手セット (ねじ付)	丁番カップ	保護材セット
呼称			保護材 (8個) 張付け説明書
0709・0712 0809M・0812M	2	4	1
0718・0818M	2	6	1
0720・0723 0820M・0823M 1220・1223	2	8	1

〔枠用〕

部品名称	皿小ねじ M4×50 (枠組立て用)		皿タッピンねじ φ4×50 頭部シート色塗装 (上枠・縦枠躯体 取付け用)	戸当り	戸当り 取付けねじ ナベタッピンねじ 1種φ3.5×16	丁番座
	3方枠	4方枠				
呼称						
0709・0809M 0712・0812M	4	8	9	2	4	4
0718・0818M	4	8	9	2	4	6
0720・0723 0820M・0823M	4	8	9	2	4	8
1220・1223	4	8	10	2	4	8

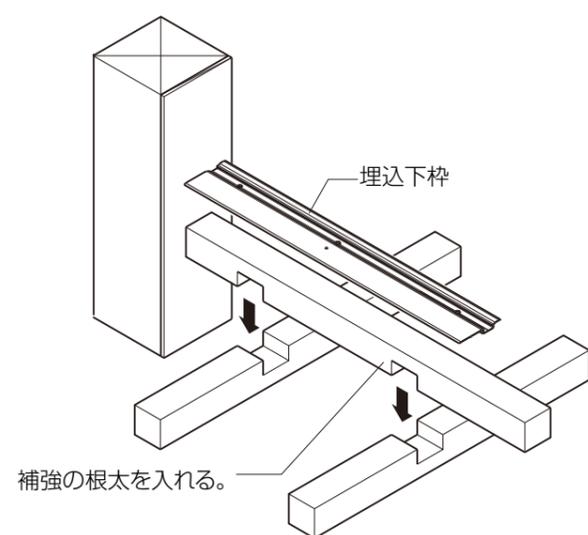
〔下枠用〕

部品名称	トラスタッピンねじ φ4×25 (薄下枠組立て用)	皿タッピンねじ φ3.5×20 (枠取付け用)	縦枠下部ピース	縦枠下部ピース 取付け用 皿タッピンねじ 1種φ4×20
呼称				
つば付き薄下枠	4	-	-	-
埋込下枠	-	3	2	2

■床の張り方

1 下枠下地の確認

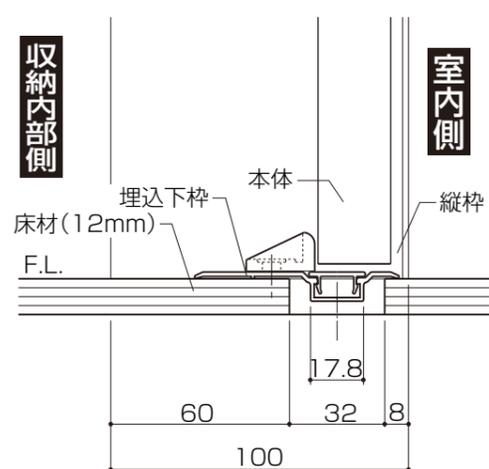
- 枠材は捨て張り合板の上に施工するか、根太張り工法の場合は下図のように根太を入れて補強してから施工してください。下枠の破損や本体開閉不具合の原因となります。



2 床張り位置 (床の張込み)

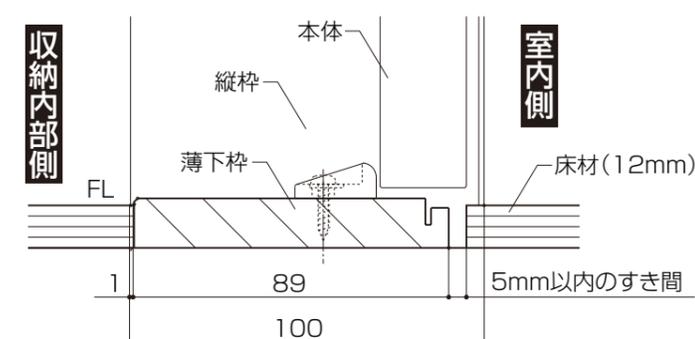
〔埋込下枠を使用する場合〕

- 床材間に埋込下枠が入りますので、室内側縦枠木口から8mm 内側の位置に32mm あけて、床材を張ってください。
※ 床材の開口寸法(32mm)が大きすぎたり狭すぎると、床のすき間が見えたり埋込下枠が入りにくい原因となります。

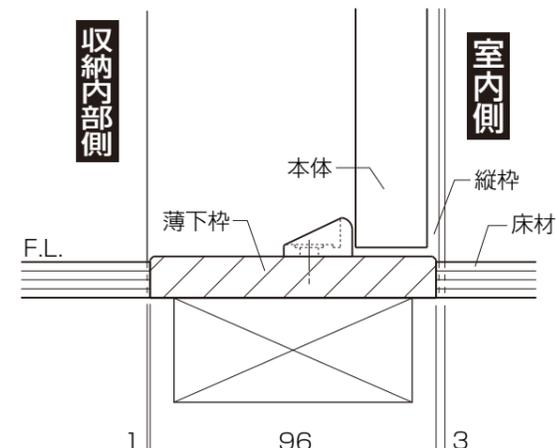


〔つば付き薄下枠を使用する場合〕

- 枠の取付け後、右図のように床材を張ってください。



〔つばなし薄下枠を使用する場合〕

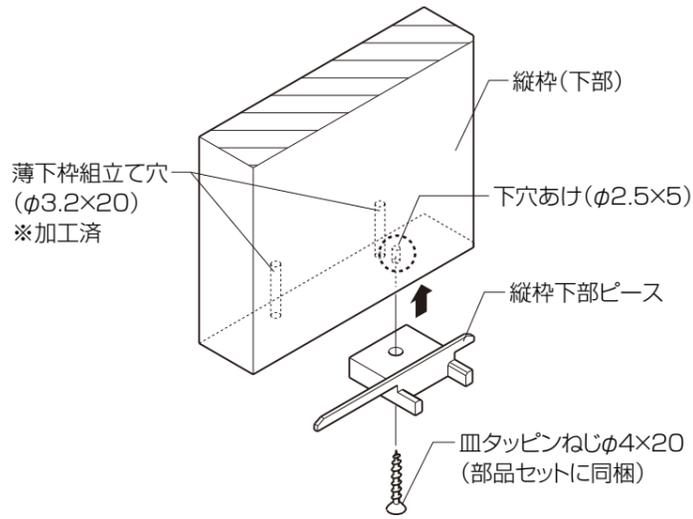


■取付け順序

■1 枠の組立て

【埋込下枠を使用する場合】

- 縦枠に縦枠下部ピースをねじ（皿タッピンねじφ4×20）で固定します。縦枠に下穴（φ2.5×5）をあけるときは、取付け説明書に載せてある型紙を使用して位置出しをするとう簡単にあけることができます。
- ※すでに加工されている薄下枠組立て穴（φ3.2×20）とは異なりますので、ご注意ください。

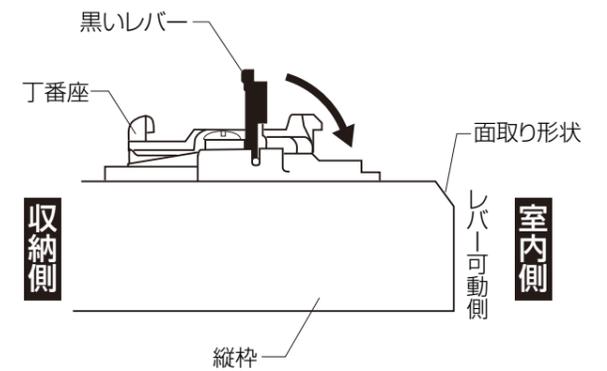
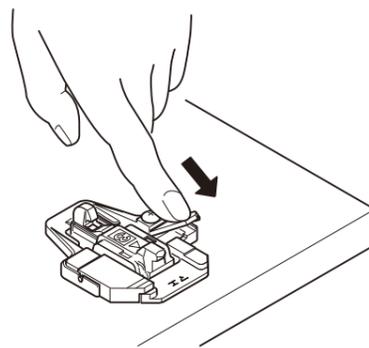
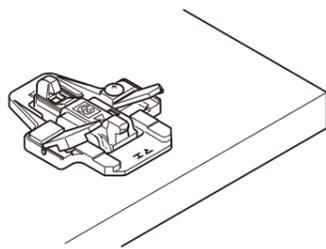
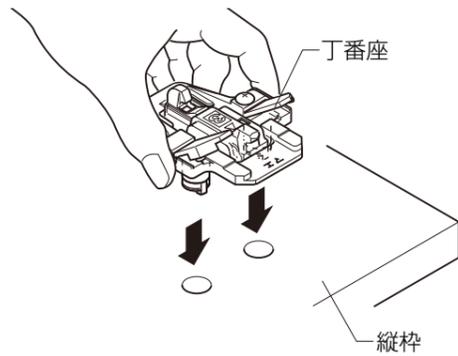


- ①縦枠に丁番座を取付けます。
縦枠に丁番座を差込みます。

丁番座と縦枠の間にすき間がないことを確認してください。

黒いレバーをおろして丁番座を固定します。

※丁番座の向きは下図を参照し間違いのないようにしてください。

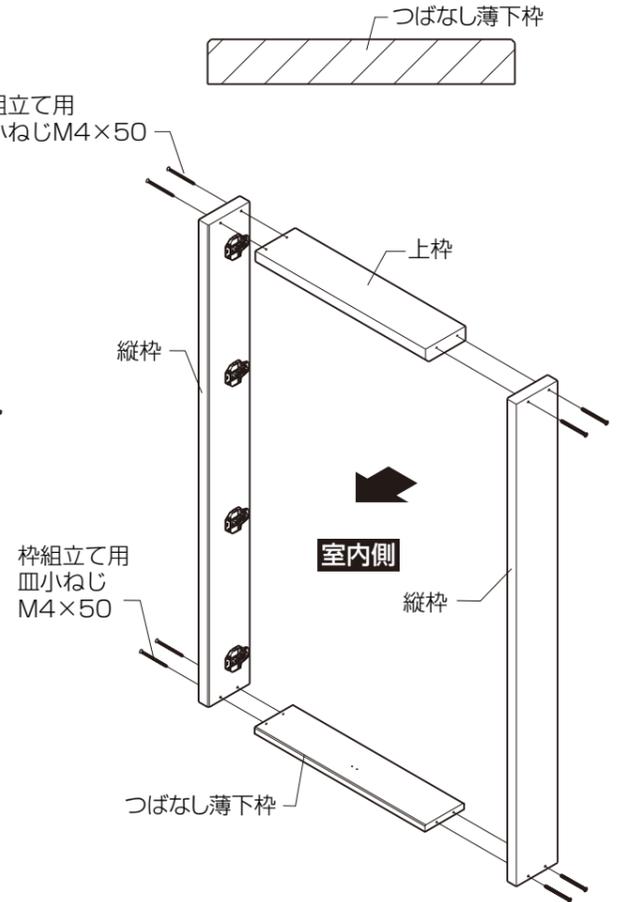
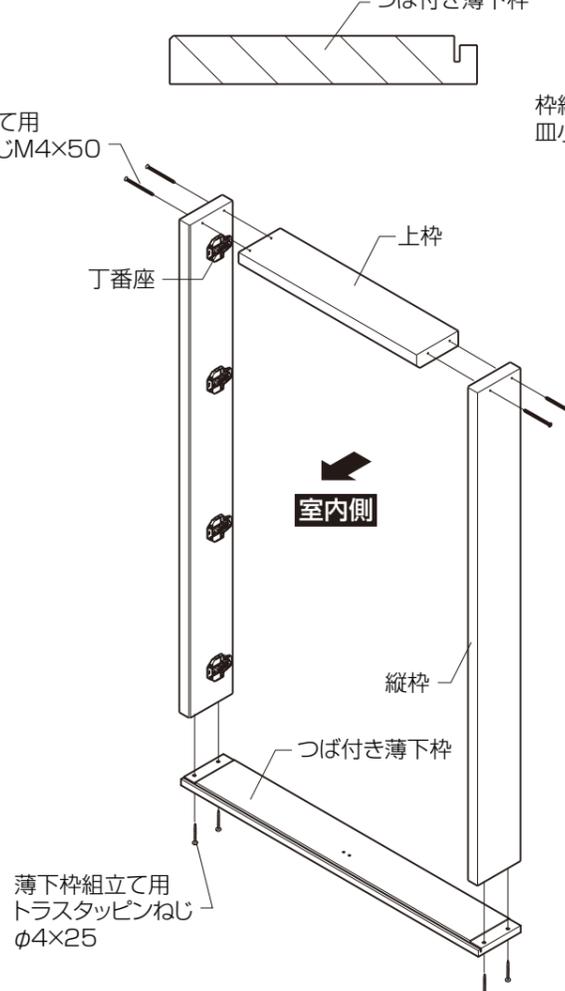
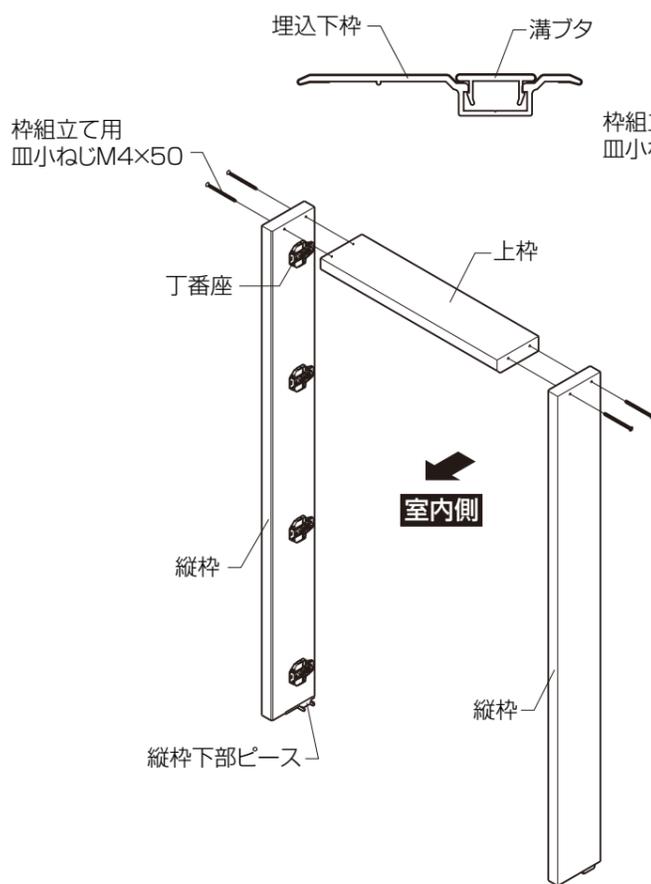


- ②下図のように各部材を組合せ、同梱のねじで固定します。

【埋込下枠を使用する場合】

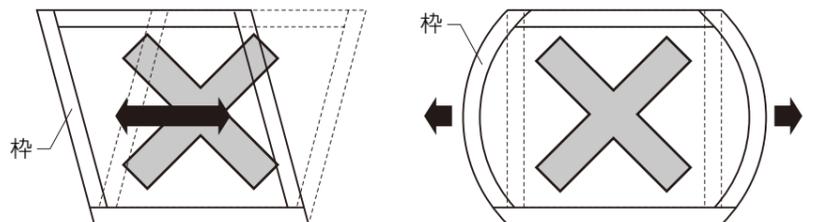
【つば付き薄下枠を使用する場合】

【つばなし薄下枠を使用する場合】



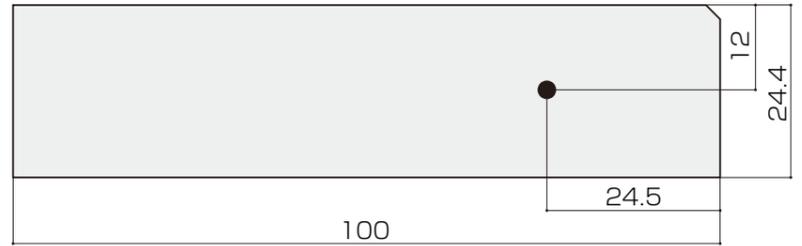
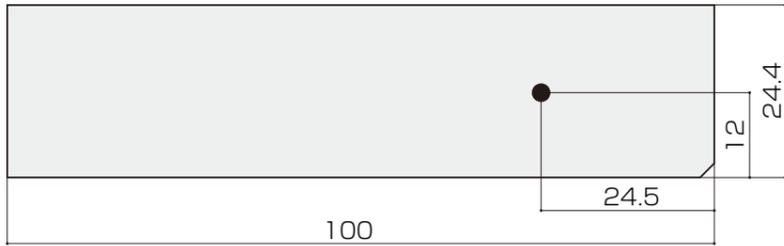
枠組立て上のお知らせ

- ※ガイド穴にゴミなどが入らないようにしてください。
- ※ねじは、たたき込まないようにしてください。保持力低下などの原因となります。
- ※枠組立て後、揺らす・引張るなどの無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

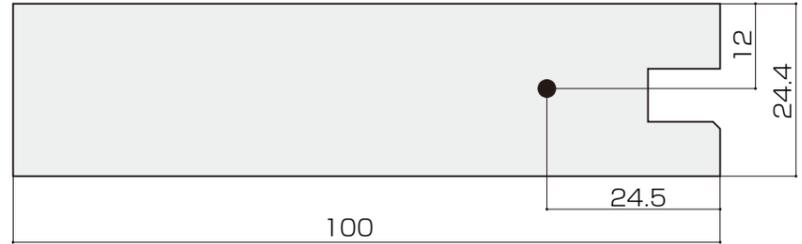
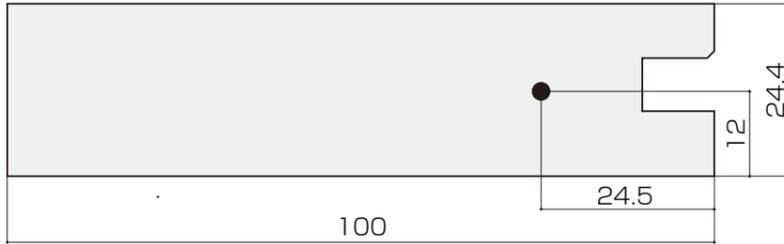


●縦枠下部ピース取付け穴加工用型紙

・ノンケーシング縦枠（下穴φ 2.5×5）



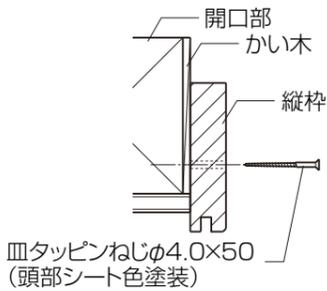
・ケーシング縦枠（下穴φ 2.5×5）



■枠の取付け（つば付き・つばなし薄下枠共通）

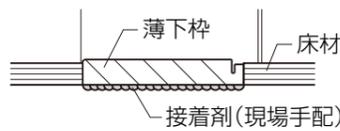
組立てた枠を、開口部に取付けます。
※取付けねじ（皿タッピンねじφ4.0×50）と同じピッチになるようにかい木を入れます。

■A部詳細図

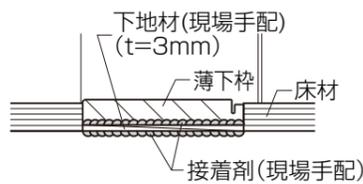


〔薄下枠の場合〕

●床材厚さ 12mm
※必ず薄下枠に接着剤を付け、躯体に固定してください。



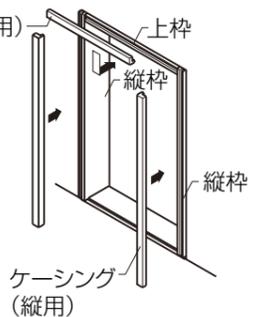
●床材厚さ 15mm
※必ず薄下枠と下地材に接着剤を付け、躯体に固定してください。



■ケーシングの取付け(ケーシングタイプのみ)

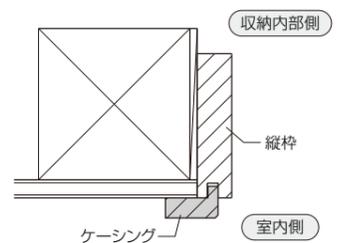
※壁材・床材を仕上げたからケーシングを取付けてください。

- ①別梱のケーシング(上用)を現場寸法に合わせて切断します。
- ②枠のケーシング溝へケーシングを差込みます。
- ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤を塗布し、ケーシングを固定します。
※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



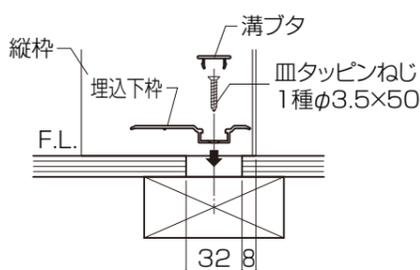
●ケーシングタイプの取付け

組立てた枠を開口部に入れます。次に縦枠にケーシングを差込み、枠の固定位置を確認します。
※ケーシングの足は設定が限られており、後で調整することができません。このため、位置出しは確実に行ってください。
※ケーシングは、位置出しのためですから、固定はしないでください。



〔埋込下枠の場合〕

●埋込下枠を縦枠下部ピースにはめ込み、縦枠室内側端部から3mmの位置にねじ止めし、溝ブタをはめ込みます。



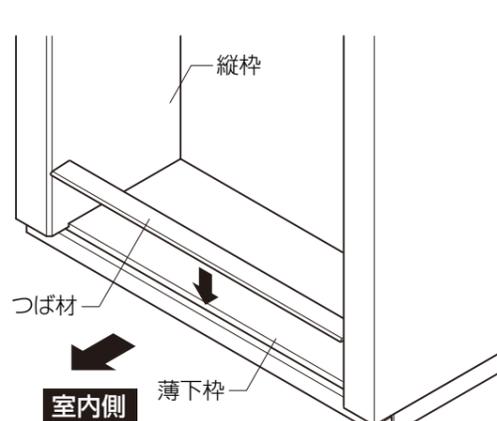
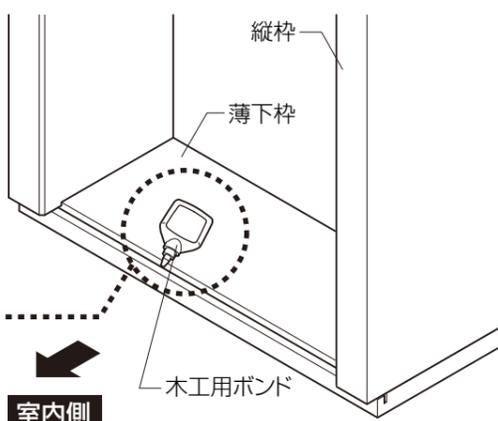
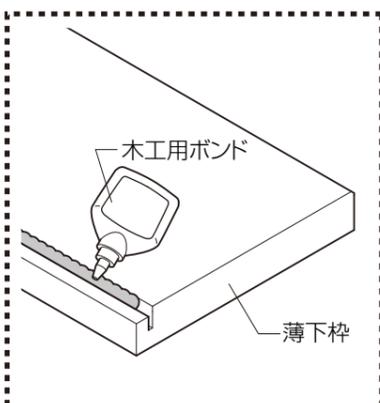
■つば材の取付け(つば付き薄下枠を使用する場合のみ)

- ①現場でつば材の寸法を開口に合わせて切断してください。
- ②薄下枠の溝に木工用ボンド(現場手配)をつけてください。

③つば材を溝に手ではめこんでください。

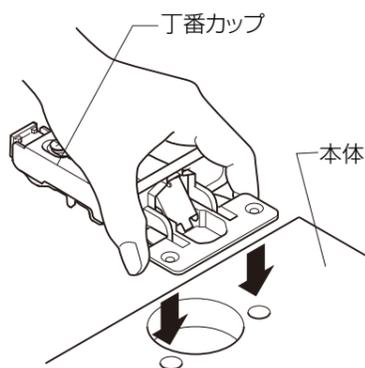
お願い

※ハンマーなどで強くたたき込まないでください。



3 本体の吊込み

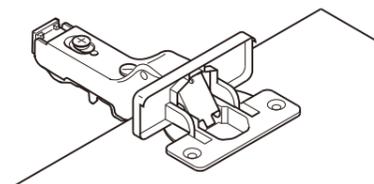
① 丁番カップを取付けます。



丁番カップのカバーを90°に開いて、本体の丁番カップ取付け穴に丁番カップを差込んでください。

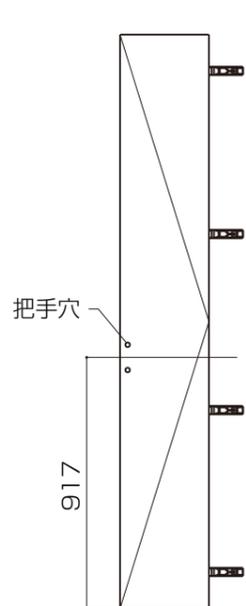
※ワンタッチ式ですので、ねじ止めは不要です。

本体と丁番カップにすき間がないことを確認したら「パチッ」というまで強く押込んでください。



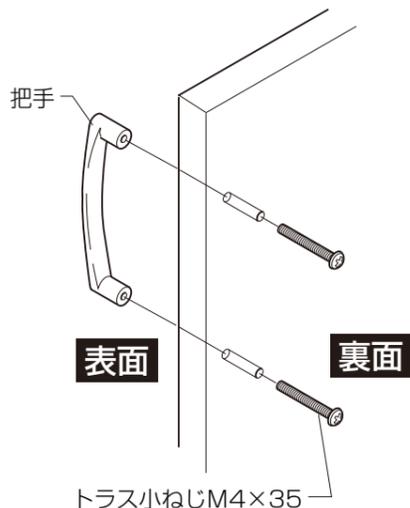
② 本体の左右勝手の確認

● 本体の下端より上下把手穴中心までの寸法が、917mmになります。(H09は756mm)



③ 把手の取付け

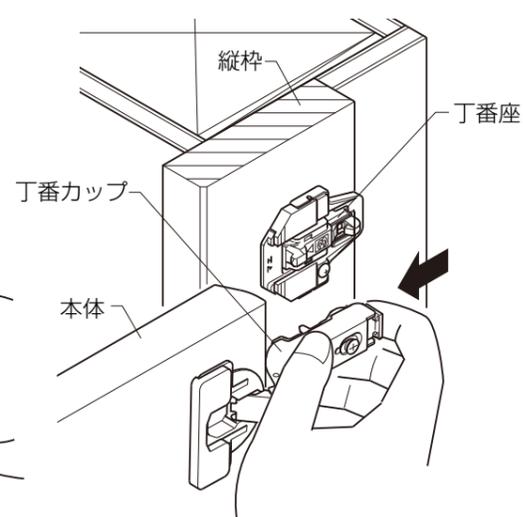
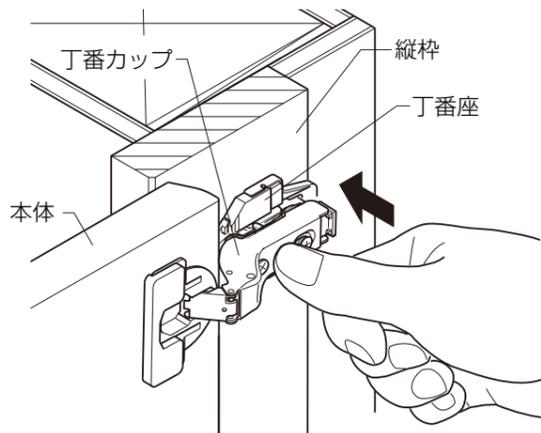
※ 把手セットは本体に同梱されています。



④ 本体の吊込み条件

● 本体の丁番カップを縦枠の丁番座にセットし、上から押込むだけで簡単にセットできます。

● 取外す場合は、先端のスイッチ(黒色)を押込むと外れます。



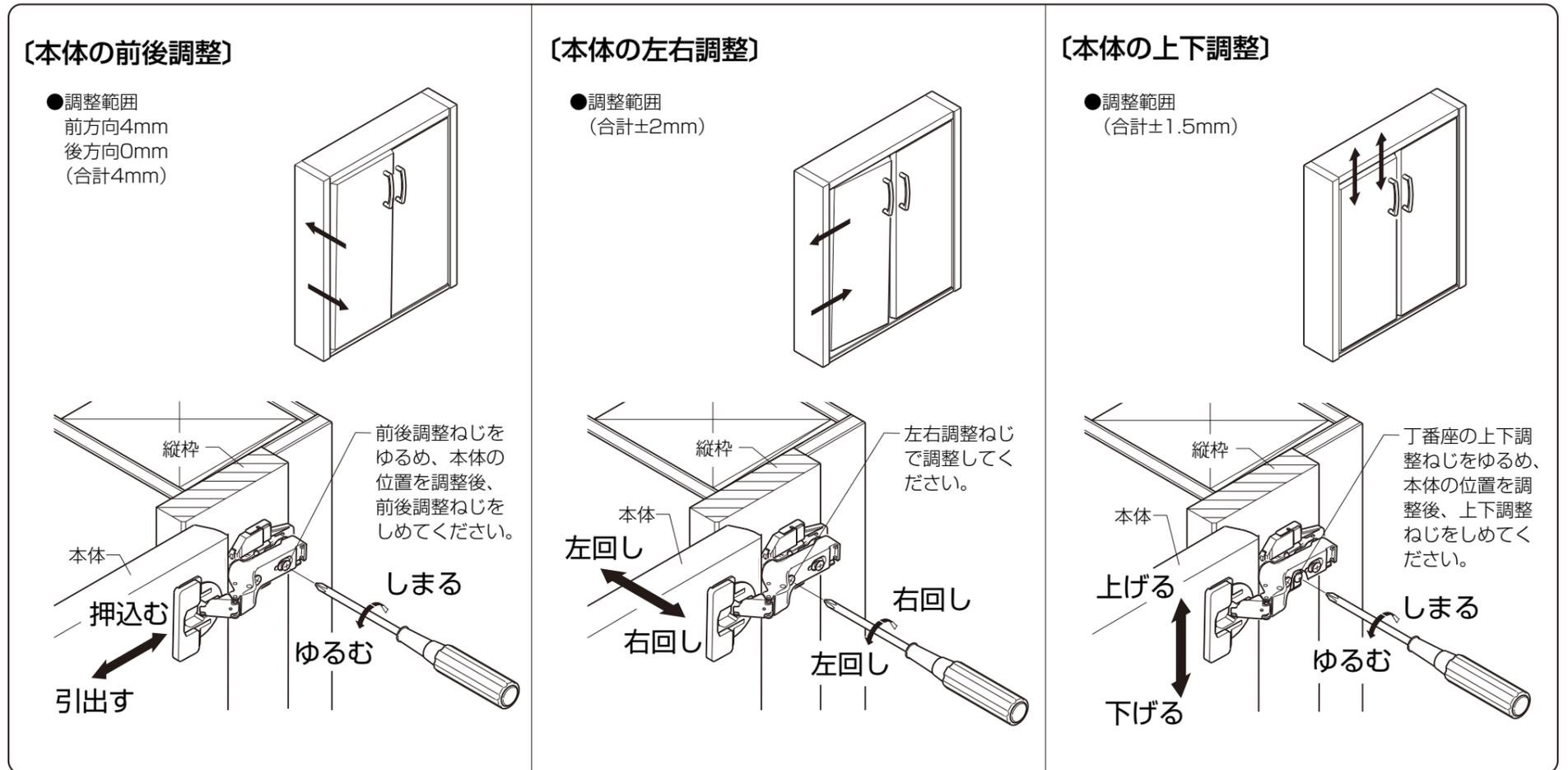
▲ 注意

● 本体の吊込みを行う場合は、本体の丁番カップが縦枠の丁番座に「カチャッ」と音がするまではめ込んでください。本体の落下の原因となります。

※ H18(3枚吊り)H20、H23(4枚吊り)の場合、最初に中間の丁番を取付けてから、端部の丁番を取付けてください。

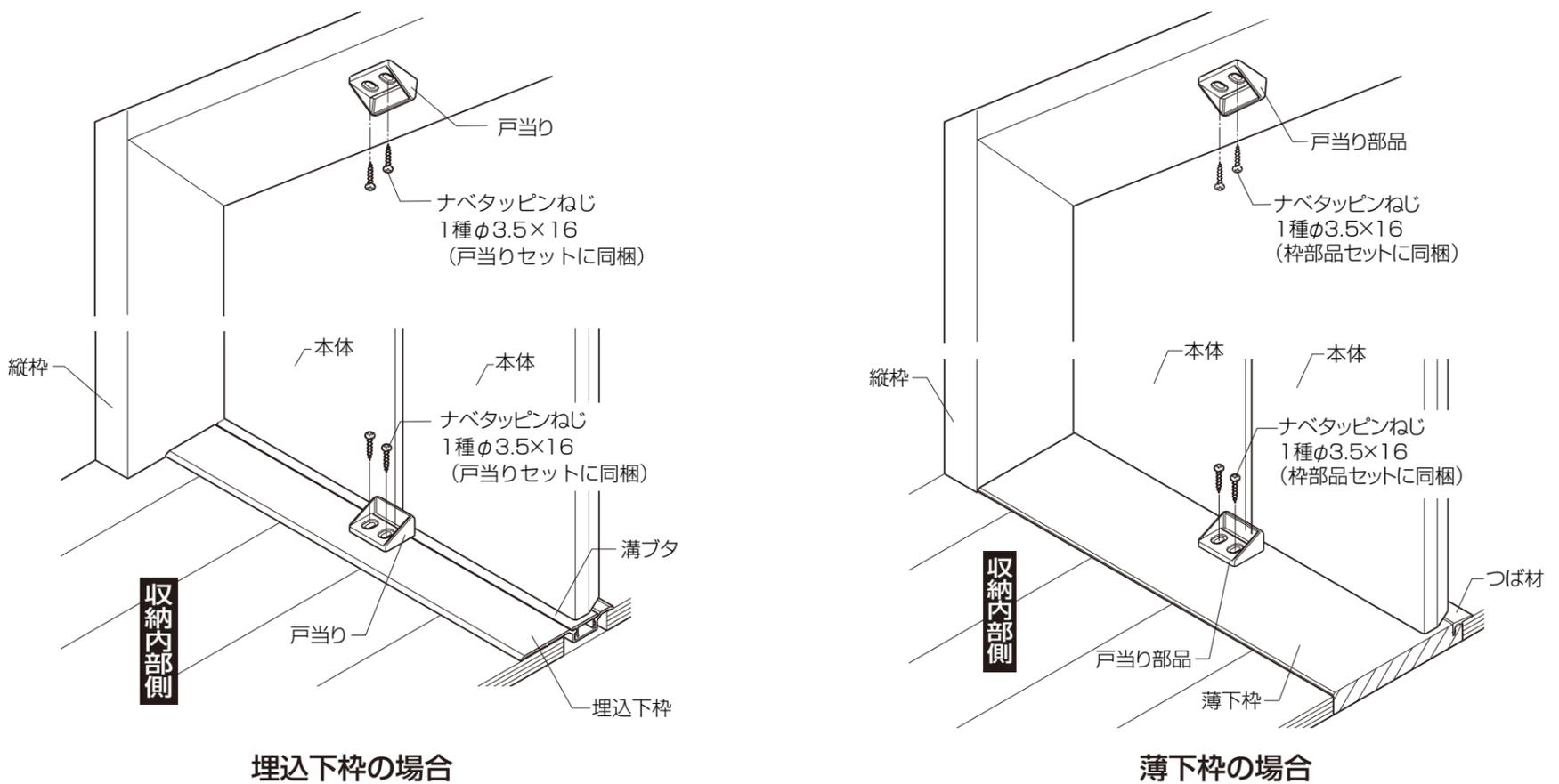
※ 本体を支えている手を離す場合は、必ず丁番を2個以上取付けてからにしてください。

4 建付け調整



5 戸当りの取付け (薄下枠共通)

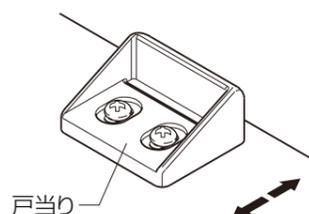
①本体を枠に吊込み、建付け調整を行なった後、戸当りをナベタッピンねじ1種φ3.5×16(戸当りセットに同梱)で固定します。



6 戸当りの調整

①本体の建付け調整を行なった後、本体を閉めて戸当りとあたっていることを確認してください。

※本体と戸当りがあたらない場合は、戸当り取付けねじをゆるめ調整してください。(調整範囲：奥行き方向に3mm)

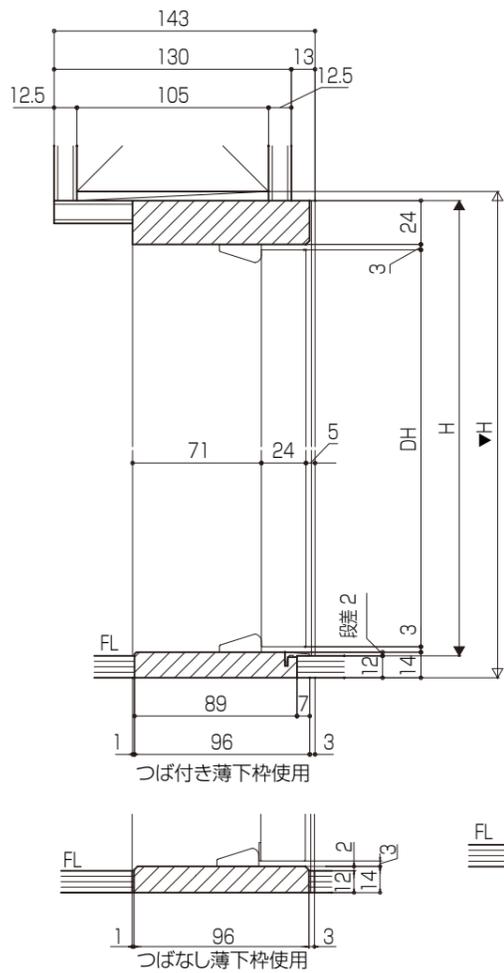


■納まり図

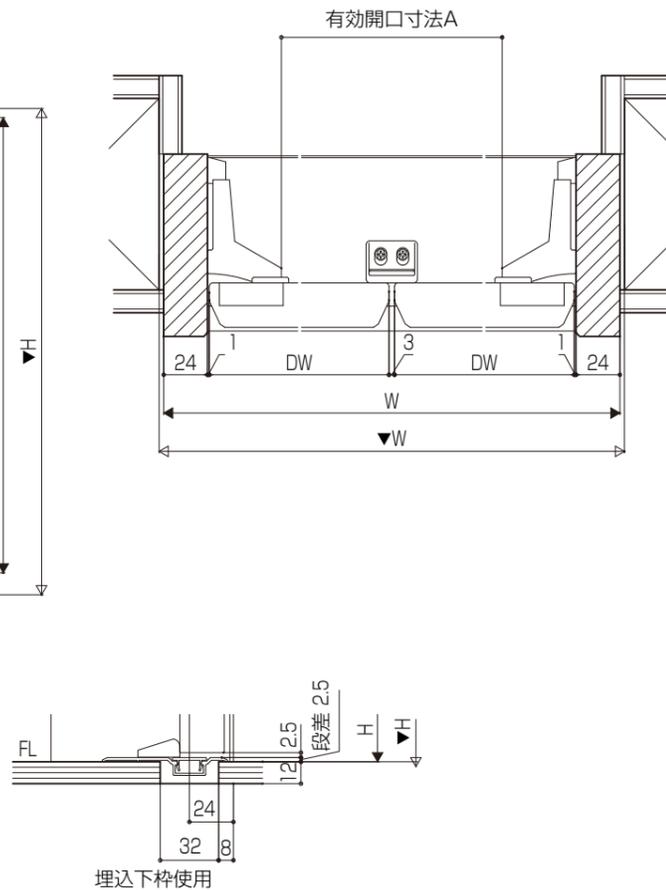
■クローゼットドア開き戸(両開き戸) ノンケーシング

基本寸法 (mm)	W 呼称	07	08M	12		
	W	734	824	1183		
	H 呼称	09	12	18	20	23
	H	878	1178	1823	2023	2306

縦断面図



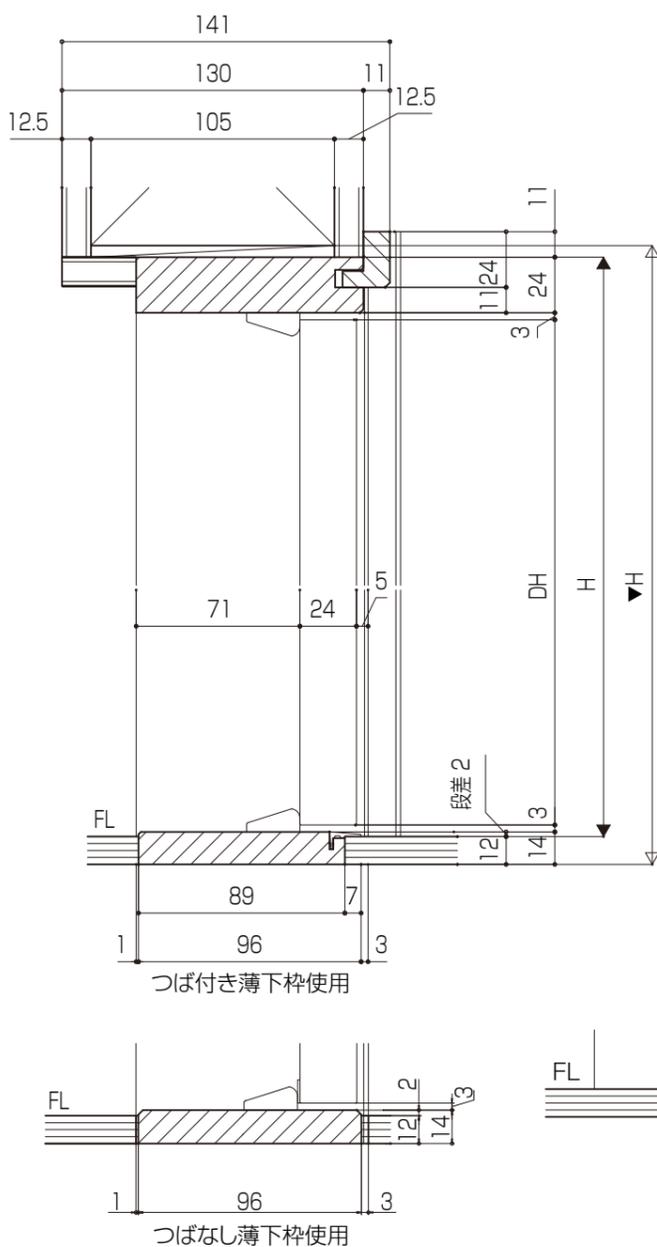
横断面図



W呼称 (枠外寸法)	A寸法
W07(734)	608
W08M(824)	698
W12(1183)	1057

■クローゼットドア開き戸(両開き戸) ケーシング付

縦断面図



横断面図

